

# これからの減災に活かす“受援と支援”のあり方



開催日

第1部 基調講演/活動報告  
13:00~14:50

第2部 ディスカッション  
15:00~16:00

平成30年  
1月20日(土)

開場・受付 : 12:30  
開始 : 13:00  
会場 : 人権ライブラリー  
会議室

東京都港区芝大門2-10-12  
KDX芝大門ビル4F

【基調講演】

原田壽 氏

熊本市南区役所 保健子ども課

松尾弥生 氏

株式会社 南阿蘇ケアサービス

【活動報告】

青野美香

ジャパンハート 国際緊急救援事業

【テーマ】「真に望まれる被災者に必要な支援とは？」

参加者の皆さんを交えてのディスカッションを通して、講演者と共に災害支援のあり方を考えます。

【ファシリテーター】

佐藤抄

ジャパンハート 事務局長

★対象：災害支援に関心のある方、

支援・受援の実体験を聞きたい方、

自治体関係者、災害ボランティアなど

今後の減災を考えたい方でしたらどなたでも可

★参加費：¥2,000(会員1,500円)

★お申込み：HP TOPページ

右上「お問い合わせ」ボタンをクリックし、「1月熊本地震イベント参加希望」と明記下さい。

★定員：80名(申込み受付順)

★後援：公益財団法人日本財団

【講演者紹介】



原田壽 氏

熊本県熊本市出身。熊本市南区役所保健子ども課課長として母子・成人・精神保健の維持推進に尽力している。

震災時は所轄区役所にて医療対策本部と区内3ヶ所の一時避難所運営責任にあたり医療救護班の受入と避難所の健康問題対応の責務を担った。

現在は応急仮設住宅及びみなし仮設住宅の住民に対し区に設置された「支えあいセンター」、熊本市社会福祉協議会、地域の民生委員・児童委員などの関係者と連携し、復興に向かう住民の保健・健康問題への取り組み活動を統括している。



松尾弥生 氏

熊本県南阿蘇出身。高齢者介護複合施設南阿蘇ケアサービス副代表。震災時は、自身の施設に入居中の高齢者を守る傍ら、要介護高齢者や一般避難所からの避難受け入れの需要により福祉避難所の立上げ、運営に尽力する。

また、運営に必要な専門職ボランティアのプラットフォーム「みなみ阿蘇救援福祉ボランティアネットワーク」を立上げ、運営協力にもあたり、要支援者の避難体制を固めた。現在は復興に向け、「南阿蘇に生き南阿蘇に死ぬ」当たり前だったことをちゃんと実現できる村づくりを目指している。